

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ..... 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 ..... 490番
- \*交読文 ..... 40番
- \*使徒信条 ..... 会衆一同
- \*頌栄 ..... 174番
- 礼拝のための祈り ..... 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 ..... 375番
- メッセージ ..... 栄光の家系の女達 - タマル1(創世記 38:1-11)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 ..... 326番
- 献金感謝の祈り ..... パスター
- 報告と歓迎 ..... 次週主日、パスターは横浜華僑教会にて奉仕し、当教会では、  
神の家キリスト教会 伝道師 柿本ひかる先生が奉仕されます。  
それぞれの奉仕のためにお祈り下さい。
- \*主の祈り ..... 会衆一同
- \*祝祷 ..... パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

\_\_\_\_\_は、罪と取り組んで戦う時、まだ血を流すほどの抵抗をしたことがない。また子たちに対するように、\_\_\_\_\_に語られたこの勧めの言葉を忘れていない。「わたしの子\_\_\_\_\_よ、主の訓練を軽んじてはいけない。主に責められるとき、弱り果ててはならない。主は愛する\_\_\_\_\_を訓練し、受け入れるすべての子を、むち打たれるのである」。\_\_\_\_\_は訓練として耐え忍びなさい。神は\_\_\_\_\_を、子として取り扱っておられるのである。いったい、父に訓練されない子があるだろうか。だれでも受ける訓練が、\_\_\_\_\_に与えられないとすれば、それこそ、\_\_\_\_\_は私生子であって、ほんとうの子ではない。(ヘブル 12:4-8)

新約聖書は、いきなりイエス・キリストの系図で始まる。何とも初心者に不親切と思えるが、この系図に名を連ねている人々の成り立ちは、知れば知るほど、人の罪深さと、主の憐れみ深さを知り、いかに、どうしようもない人であっても、栄光の家系に連なる事ができるのだ、という希望が湧いて来る。これから、この系図に登場する「女性たち」に焦点を当て、何度かに分けて見て行きたい。系図の中で最初に登場する女性は、タマルである。(マタイ 1:3) ユダとタマルによってパレスとザラが生まれた、とあるが、ユダとタマルは、夫婦ではない。タマルは、ユダにとっては、息子の嫁、という関係である。ユダはイスラエルの王族の父祖であり、全世界を救うメシヤの家系の家長だが、その大切な一族の初期の段階から、既に人の罪が渦巻くドラマがある。一体なぜ、このような事になってしまったのか。

『そのころユダは兄弟たちを離れて下り、アドラムびとで、名をヒラという者の所へ行った。ユダはその所で、名を「シュアというカナンびとの娘」を見て、これをめとり、その所にはいった。』(創世記 38:1-2) 事の発端は、ユダが、神に召された家族の元を離れ、異邦人の地に行き、異邦人の娘を見て、それを妻とした所に始まる。神の子達が兄弟姉妹の元を離れ、異邦人を見染めて妻を迎え入れると、必ず多くの悲しみや、時間やエネルギーの多大なロスを生み出す元になってしまうのは、ノアの大洪水前からそうである。この異邦人の女との間に最初に生まれた息子・エルは、ユダ自身が名付けたが、2番目・3番目の息子はこのシュアの娘が名付けたようである。(同 3-5 節) 異邦人の妻と暮らしていく中で、ユダの家長としての権威はますます弱くなり、異邦人の娘の影響力がますます大きくなって行ったのだろう。

『ユダは長子エルのために、名をタマルという妻を迎えた。』(同 6 節) ユダの妻である「シュアの娘」は、出所は「カナン人」であると記されているのに、名前は聖書に一切記されていない。それに対し、タマルは全く逆で、名前は明確に記されているのに、出所が一切記されていない。という事は、タマルはアブラハムの家系だったのかもしれない。いずれにせよ彼女は、ユダの子孫を残す事の大切さをユダより意識しており、ユダも、しっかりした彼女によって息子が改善するのを望んだ事だろう。しかし長男エルは、異邦人の母の影響を多大に受け、主を畏れる心は育たず、主を怒らせるようになり、ついには子供を残さないまま、主に殺されてしまった。ユダは、次男のオナンに「兄の妻の所にはいって、彼女をめとり、兄に子供を得させなさい」と命じたが、彼は、子が自分のものとならないので、兄に子を得させまいと、行為の度に子種を地面に流した。それは「生んで増えて地に満ちる」という神の御心にも、また、父の命令にも、反抗する事だったため、主は彼をも殺された。神にも父にも反抗してまで、自分を貫きたい、という者を、主は打たれるのだ。ところで、ユダを含め、ヤコブの12人の子達は、カナン人に劣らず罪深い行いを沢山したのに、主に打たれていない。それは、主は、罪深い人を打つというより、主に反抗する者を打たれるからである。

息子が二人死んでしまったので、ユダはタマルが縁起悪いと思ったのだろうか、彼女を三男から遠ざけた。しかし、息子二人が死んでしまったのは、書いてある通り、息子たち二人が、主に逆らったからである。そしてこの三男シェラも、主に打たれて死ぬ要素が、十分にあった事を、ユダ自身認めていたのだろう。ユダは、タマルを遠ざけるよりも、自分達の内にある神に嫌われる性質を遠ざけるべきだったのに、それをせず、一人の弱い立場の女性・タマルを遠くにやって、嫌な事はうやむやのまま、葬り去ろうとした。しかし、神に属する一族にあっては、罪の問題やいのちを生む事、神へ果たすべき責任を、うやむやのまま先延ばしにして、そのままフェードアウト出来るわけは無いのだ。ユダは悔い改めを先延ばしにしてしまった結果、後に神と人の前でとても恥ずかしい思いをする事となる。ちょっとした信仰の妥協は、大きなロスと悲しみを生み出し、果たすべき謝罪や悔い改めを、先延ばしにすればする程、後に受ける恥も災いもどんどん膨れ上がっていく。その詳細は、次回にゆずりたい。主の御声は、どんなささやかなものでも、正確に聞く耳が開かれ、その導きに従って歩み、時間も、いのちも、ロスする事なく歩んで行く皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

#### 日曜礼拝

1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30  
 食事/フェローシップ 12:00～  
 2部礼拝 14:00  
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～  
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
 火～木 夜の祈祷会 19:30～

#### 水曜集会

1部 13:00～  
 2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
 JR・関内駅より徒歩10分  
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで  
 毎日携帯にお届けします。  
 左記コードを読み込み、  
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト